

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第 25 号 (2023 年度)



Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No.25(for the fiscal years of 2023)

はじめに

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も、2023年5月8日から感染症法上の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から「5類感染症」に移行し、ほぼ平常の集客を取り戻すことができるかに見えました。

しかし、これまでにできなかったことができるようになり、またこれまで行けなかったところに行けるようになったこともあったのか、ゴールデンウィークや夏休みなど集客が期待できる時期に思うように来館者が伸びず、当館にとっては集客に苦戦した年でもありました。

このため、InstagramやFacebookなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を積極的に活用した博物館の情報発信に力を入れ、集客増に努めてきました。

このような中、博物館のあり方を改めて見つめなおすとともに、地域とのかかわり方を再検討する年にもなりました。そもそも、立地する地元の人たちが来館することが少ないことが課題であるとのことから地域の皆さんと協議を重ね、もっと地域の皆さんに博物館を認知していただくことの必要性を再認識したところです。

2024年4月からは、市の組織改編に伴い当博物館は但東振興局が所管することとなり、より地域との連携が求められることとなります。

今後も展示内容の検討や魅力的な企画展示の検討に努めるとともに、地域振興にも寄与する博物館として事業を展開していきたいと思えます。

おわりに、今年度当館の運営にご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

2024年3月31日

日本・モンゴル民族博物館
館長 桑井弘之



目 次

I	2023 年度概要	3	10	豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例
II	展覧事業	3	11	施設概要
	1 常設展		12	交通案内
	2 企画展		13	利用案内
III	資料収集保存事業	12		
	1 資料の貸出			
	2 資料の燻蒸			
IV	普及教育事業	13		
	1 出前授業			
	2 来館受入授業			
	3 体験教室、講座の開催			
	4 イベントの開催			
	5 トライやる・ウィークの受入れ			
	6 情報の発信と公開			
	7 その他			
V	国際交流事業	17		
	1 モンゴル国との国際交流			
VI	管理運営	18		
	1 組織・職員			
	2 予算の概要（決算額）			
	3 利用状況			
	4 施設管理			
	5 博物館協力会			
	6 外部役員等就任状況			
	7 博物館ネットワーク			
	8 博物館日誌抄			
	9 2023 年度来館者アンケート			

I 2023 年度概要

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同様の「5類感染症」に移行し、今まで法律に基づき一律に求められていた感染対策が、個人の判断によるところとなった。実質的に人々の行動制限もなくなったことにより、新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻ることを期待したが、行動制限がなくなったことにより、これまでできなかったことができるようになったこと、またこれまで行けなかったところに行けるようになり、人々の行動範囲が広がったこともあるのか、当初期待したほど来館者の増加がみられなかった。

このような中、今年度も三つの企画展を開催した。第90回企画展「～モンゴル人絵本作家による～『モンゴル大草原 800年』原画展」においては、その絵本作家が、旧但東町時代の1994年に開催した「森と砂漠を結ぶ国際シンポジウム&音楽祭」に際して、モンゴル国から招いたメンバーの一人として当時中学生で参加していた女性であったことが判明するなど、深い「縁」を感じるものがあった。

また、第91回企画展「都市化が進む現代モンゴル～写真家Bインジナーシが見た首都ウランバートル社会の断面～」では、現在のモンゴルに関する映像と音楽による展示を行うことにより、今までとは違った視点の内容となった。

出前授業(一部来館授業)は、例年どおり豊岡市内の全小学校で実施するとともに、県外の小学校とのWebによる授業なども積極的に取り組んだ。

今年度も「まるごとモンゴルひなまつり」は、資母体育館を会場に、2日間にわたって開催した。市外への案内チラシの効果もあり、多くの参加者で賑わった。

また今年度は、博物館のあり方について問われる年でもあった。立地周辺の5区の協力体制を地区全域に拡大すべきであるとの思いから地区と協議を重ね、地区全体での組織の設立の方向付けができた。また、所蔵資料の調査をきっかけに、国立民族学博物館で行われた研究会の場で当館学芸員が発表の場を得るなど、新たな連携の可能性なども出てきた。

今後も、文化施設としての役割はもとより、地域や学術関係機関等との連携を図り、地域振興にも貢献できる博物館を目指し、職員一丸となって各事業の展開に努めていきたい。

II 展覧事業

1 常設展

(1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、本館の①「たんとうの森」、②「アジアの歴史と風土」、③「モンゴル草原のいのり」、④「モンゴル草原の暮らしと文化」及び伝承文化体験交流館の⑤「豊岡市但東の歴史とくらし」で構成されている。

- ① たんとうの森・・・人工樹木を配し、平安時代前期の朽木仏像5体を展示
- ② アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示
- ③ モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具などを展示
- ④ モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ⑤ 豊岡市但東の歴史とくらし・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

(2) 常設展の更新

常設展については、部分的な展示替えにとどめている。

現在、収蔵品の調査を計画的に実施しており、すべての収蔵品の調査が終了した段階で、常設展の展示替えを検討したいと考えている。

(3) 屋外展示

- ① 騎馬像（チンギス・ハーン）1体及び馬像2体
- ② オボー（複製）
モンゴルで建てられる精霊の降りてくる目印で、しばしば道しるべや境界標識の役割を兼ねている
- ③ 赤坂古墳群第1号墳（復元）
豊岡市但東町畑 横穴式石室
- ④ 道路元標
道路の起終点を示す標識で、資母村、高橋村各1基を展示
- ⑤ 山羊小屋…屋外の小屋に山羊1頭を飼育、公開
- ⑥ 「環界・IV Φ300cm87」
御影石製彫刻 1988年、豊岡市但東町畑山出身彫刻家、橋本清孝氏寄贈

(4) 展示解説の積極的な推進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内展示の案内・説明を行っている。利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心がけている。

(5) 体験型博物館の取組み

楽しみながら学べる体験型の施設を目指し、ゲルとその内部に遊牧民の生活空間を再現し、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験、また夏休み期間には、ものづくり教室、ハーバリウム教室、羊のマスコットづくり教室なども開催している。

また、企画展に関連したものづくり等のワークショップを年間複数回開催し、子どもを中心に市内外から多くの参加がある。

2 企画展

(1) 第 89 回企画展 「ピエゾグラフによる赤羽末吉『スーホの白い馬』展」

会期：2023年7月15日～8月22日 33日間（見学者数890人）

モンゴルの民族楽器「馬頭琴」の誕生物語として知られる絵本「スーホの白い馬」。赤羽末吉によるその絵本の原画を、高精細な印刷技術で再現したピエゾグラフで紹介した。

7月15日には、オープニングイベントとして、福井則之氏による馬頭琴演奏会も開催した。（参加者22人）



※ピエゾグラフとは

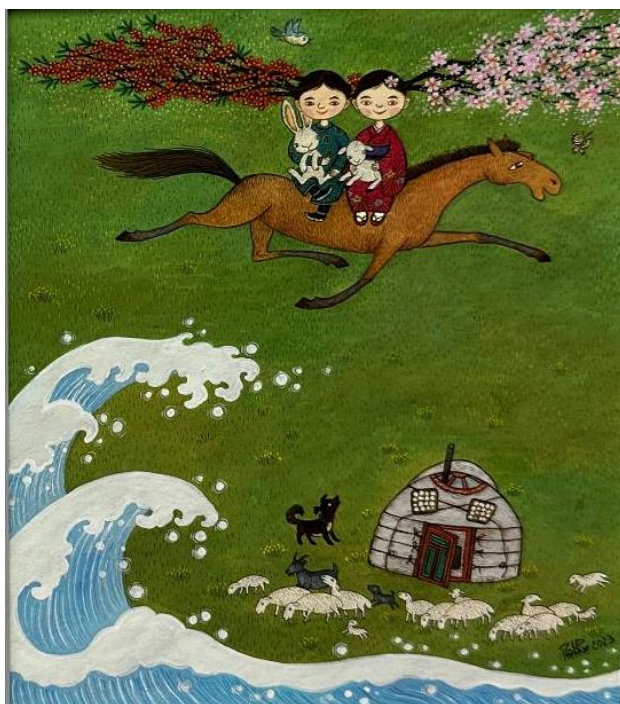
作品の色合いや風合いを最新技術による耐光性のある微小インクドットで精巧に再現した作品。セイコーエプソン(株)の登録商標

(2) 第90回企画展「～モンゴル人絵本作家による～『モンゴル大草原 800年』原画展」

会期：2023年8月24日～10月31日 60日間（見学者数811人）

モンゴル人絵本作家であるイチンノロブ・ガンバートル(文)、バーサンスレン・ボロルマー(絵)夫妻による絵本「モンゴル大草原 800年」の原画と、モンゴルと日本の国交樹立50周年を記念して作成された絵をもとに、当館オリジナルバージョンのイラストも展示した。

期間中の10月7日、8日には夫妻による「五感で楽しむ・モンゴルふれあいワークショップ」を開催し、モンゴルの食や遊びを通してモンゴルを身近に感じてもらう取り組みを行った。その際に、ボロルマー氏は、1994年に旧但東町が開催した「森と砂漠を結ぶ国際シンポジウム&音楽祭」に際して、モンゴル国から招いたメンバーの一人として当時中学生で参加しており、当時のホストファミリーと約30年ぶりの再会を果たし、また、当館に展示するモンゴル民族衣装の婦人画が、ガンバートル氏の父親の作品であることが判明するなど、深い縁を感じる企画展ともなった。



「ずっとなかよし」
ボロルマー氏による
当館オリジナルイラスト

10月7日、8日 「五感で楽しむ・モンゴルふれあいワークショップ」
ガンバートル、ボロルマー夫妻による食や遊びを通じたモンゴルと親しむワー
クショップ。(参加者17人)



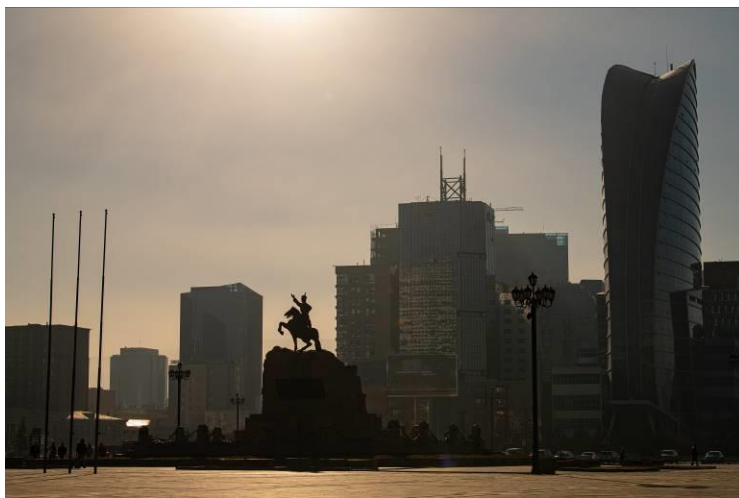
(3) 第 91 回企画展「都市化が進む現代モンゴル～写真家B・インジナーシが見た首都ウランバートル社会の断面～」

会期：2023年11月11日～2024年4月23日 136日間（見学者数2,404人）

経済成長を背景に急速に都市化・現代化が進むモンゴル。首都ウランバートルに暮らす人々の生活や、取り巻く社会環境などを流行するヒップホップ音楽や写真家B・インジナーシの目を通して紹介した。

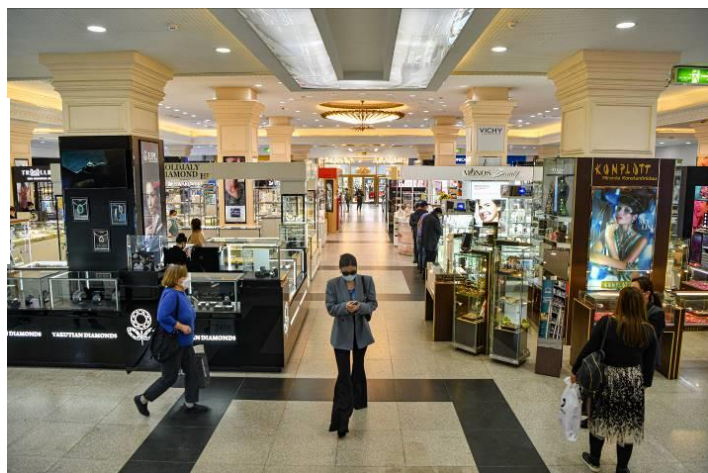
また、この企画展に併せて、11月26日には「ヒップホップから見る現代モンゴルの社会」と題した国立民族学博物館島村一平教授によるギャラリートークを開催し、現代モンゴルの状況や抱える問題などを紹介していただいた。

参加者の多くは、今まで持っていたモンゴルのイメージとは違う部分に触れ、認識を新たにできたと大きな反響を得た。



政府宮殿前のスフバートル広場から見た高層ビル群（2021年）

ノミン・デパート（旧国立デパート）のファッションモール（2021年）





バヤンホショー地区の路地
(2021年)

オユートルゴイ鉱山
(2013年)



ヒップホップのライブ
で観客と触れ合うラッ
パー
(2016年)

11月26日ギャラリートーク 「ヒップホップから見る現代モンゴルの社会」
国立民族学博物館島村一平教授(参加者27人)



3 その他展示

館蔵品展「モンゴル民族衣装『デール』と創作衣装」

会期：2023年4月23日～7月11日 69日間（見学者数835人）

博物館所蔵品の中から、普段は公開していないさまざまな様式の「デール」を紹介するとともに、2022年秋に開催したファッションショーにおいて、芸術文化観光専門職大学の学生有志が制作した衣装を併せて展示した。



Ⅲ 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、二代目館長である故金津匡伸氏から寄贈を受けたモンゴル国の資料やアジアの考古資料を中心に、モンゴル国内や日本各地からの寄贈、寄託及び購入した資料、その他旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料で構成されている。

モンゴル関係資料台帳の電子化及び資料の整理は、2014年度から2018年度でほぼ完了したが、特に宗教関係資料について詳細調査ができていないものが多数ある。このため、2019年度にモンゴル国立科学技術大学のラグワスレン教授を招いて、宗教関連分野の資料調査に着手し、以降4年間で約550点の調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、モンゴル国との往来ができなくなり中断した。そのような時、2022年10月にラグワスレン教授が逝去され、今後の調査継続に困難な状況となったが、国立民族学博物館島村一平教授の協力を得ることが可能になり、調査を再開することができた。今年度の調査は9月に実施し、チベット・モンゴル仏教やシャーマニズムに関連するであろうと思われる113点（経典を除く）につき、収蔵品と台帳を照合させながら、現地語名称と日本語訳を調べると同時に台帳に記載する方法の検討をいただいた。

また、この調査がきっかけとなり、国立民族学博物館での研究会において、当館所蔵品の状況等について当館学芸員による発表の場を得るなど、新たな連携の可能性を見出す機会も得ることができた。

1 資料の貸出

貸出日	貸出資料	数量	貸出先
11月21日	馬頭琴、デール	各1	兵庫県立出石特別支援学校
2月4日	馬頭琴貸出キット※	1式	福知山市立三和学園
2月20日	馬頭琴貸出キット	1式	福知山市立庵我小学校

※馬頭琴貸出キット内容

内 容 物	数量
ミニチュア馬頭琴 本体	1本
ミニチュア馬頭琴 弓	1本
モンゴル帽子	1個
しゃがい	16個
しゃがい遊び方説明	3枚

2 資料の燻蒸

全館にピレスロイド系殺虫剤の空中散布および有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧を年2回実施した。また、収蔵庫（3ヵ所）内には年3回有機リン系殺虫剤の蒸散剤を設置して殺虫・防虫処理を実施した。なお、全館の害虫・ネズミの点検については、毎月実施している。

IV 普及教育事業

学校からの依頼に応じて、授業に職員を派遣する出前授業を平成12年度から実施している。授業では当館資料を活用して、ちょうど国語の授業で「スーホの白い馬」を学習する小学校2年生の児童を主な対象として、児童・生徒のモンゴルへの理解が深まるような授業を実施している。出前授業は、市内の小学校に限定して実施しており、近隣の京丹後市などの学校については来館授業という形で行っている。

今年度については、新型コロナウイルス感染症による影響は減少したものの、インフルエンザの流行拡大により、中止や日程変更が多く見られた。

また、今年度は、遠隔地の小学校とのWeb授業や学校以外での出前講座にも積極的に取り組んだ。

1 出前授業

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	12月 1日	豊岡市立新田小学校	2年	33	モンゴルって どんな国
2	12月 14日	豊岡市立城崎小学校	2年	21	
3	12月 18日	豊岡市立港小学校	2年	17	
4	1月 19日	豊岡市立三江小学校	2年	19	
5	1月 25日 26日	豊岡市立五荘小学校	2年	144	
6	1月 30日	豊岡市立寺坂小学校	2年	7	
7	2月 1日	豊岡市立合橋小学校	2年	16	
8	2月 2日	豊岡市立神美小学校	2年	13	
9	2月 5日	豊岡市立小坂小学校	2年	13	
10	2月 6日	豊岡市立三方小学校	2年	11	
11	2月 6日	豊岡市立府中小学校	2年	28	
12	2月 8日	豊岡市立竹野小学校	2年	19	
13	2月 8日	豊岡市立中筋小学校	2年	6	
14	2月 9日	豊岡市立弘道小学校	2年	24	
15	2月 13日	豊岡市立日高小学校	2年	63	
16	2月 15日	豊岡市立豊岡小学校	2年	54	
17	2月 16日	豊岡市立清滝小学校	2年	9	
18	2月 20日	豊岡市立福住小学校	2年	11	
19	2月 22日	豊岡市立小野小学校	2年	8	
20	2月 26日	豊岡市立八条小学校	2年	46	
21	2月 27日	豊岡市立田鶴野小学校	2年	18	
計		21校		580	豊岡市立八代小学校今年度実施せず

2 来館受入授業

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	12月4日	豊岡市立資母小学校	2年	7	博物館の仕事
2	1月29日	京丹後市立橘小学校	2年	14	モンゴルって どんな国
3	2月5日	与謝野町立加悦小学校	2年	41	
4	2月8日	京丹後市立高龍小学校	2年	30	
5	2月15日	京丹後市立大宮南小学校	2年	11	
6	2月20日	京丹後市立吉野小学校	2年	6	
7	2月26日	豊岡市立資母小学校	2年	7	
8	3月1日	京丹後市立長岡小学校	2年	9	
9	3月4日	京丹後市立久美浜小学校	2年	15	
計		9校		140	

3 Web授業

月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
2月20日	三重県桑名市立大山田北小学校	2年	85	モンゴルって どんな国

4 出前講座

月 日	実施団体等	対象	人数	内 容
2月18日	京都府伊根町教育委員会 (伊根町文化振興多世代交流施設「伊根の杜」)	一般	18	モンゴル民族 の文化

5 体験教室の開催

教 室 名	実施回数	参加人数	備 考
ハーバリウム教室	3	15	通年
葉っぱ切り絵をつくろう	2	4	夏休み教室
モンゴルの「五家畜」ヤギを描いてみよう	1	7	
モザイクで絵を描こう	1	11	学P活動
五感で楽しむ・モンゴルふれあいワークショップ	2	17	企画展 関連ワークショップ
羊のフェルトアート作り	4	36	まるごとモンゴル
フラワーハーバリウム	4	19	ひなまつり
計	17	109	

6 イベントの開催

(1) 「みんなで飾ろう!アートでモンゴルな X' mas ツリーin モンゴル博物館」

期間：2023年12月4日(月)～26日(火)

それぞれが一定期間内にプレゼントを持ち寄り、館内のクリスマスツリーを飾り付け、期間最後3日間でプレゼントを交換する。期間内には、馬頭琴のミニライブも行い盛り上げる。

- ① プレゼント持ち寄り 12月4日(月)～23日(土)
- ② プレゼント交換 12月24日(日)～26日(火)
- ③ 馬頭琴ミニライブ 12月23日(土) 参加者11人



(2) まるごとモンゴルひなまつり

期間：2024年3月2日(土)～3日(日)

ひなまつりの時期に合わせ、資母体育館を会場に、馬頭琴のミニライブやモンゴルに関するスライドトークに加え、馬頭琴演奏体験、羊のフェルトアート作り、ハーバリウムの作成などのワークショップを実施し、二日間で336人の来場があった。



7 トライやる・ウィークの受入れ

2023年5月29日(月)から6月2日(金)まで、但東中学校より1名を受け入れた。しかし、最終日の6月2日については大雨警報が発表され、残念ながら実施できなかった。

内容については、博物館の管理業務等を中心に体験した。中でも、図書コーナーの整理にあたっては、生徒の素晴らしい感性が発揮されたものとなった。



8 情報の発信と公開

展示の様子やワークショップの活動状況などをリアルタイムに発信していくことは、博物館の認知度を上げ、入館者の増につながる有効かつ重要なものといえる。

今後も、博物館のさまざまな情報を市広報や各種メディア、SNS等を通して、積極的に発信するよう努めていく。

(1) 全市的情報発信

市が文化芸術活動の情報発信ツールとして、秋冬期の2期に発行する「Toyooka Art Season」総合パンフレットの中で、当博物館の活動も広報している。

(2) 企画展チラシ等の配布

市内の各小学校、地区コミュニティセンター、振興局、県博物館美術館協会加入の博物館美術館、道の駅、近隣市町及び報道機関などに配布する。

(3) 各種報道メディアへの情報発信

企画展、ワークショップ等の実施に合わせ、各種報道メディアへ情報提供を行うとともに、コミュニティFMに積極的に出演するなどし情報発信に努めた。

(4) インターネット等による情報発信

リアルタイムに情報を発信するツールとして、インターネットやSNSなどの活用が特に重要となっている。

市や当館のホームページ、フェイスブック、インスタグラムで情報発信を

積極的に行っている。

SNSの更新は、催し物案内だけでなく、様々な情報や話題を随時取り上げ発信するよう努めている。

(5) フリーペーパーの活用

2021年度、2022年度とフリーペーパーを活用した広報を実施し、一定の効果が得られたが、経費負担が課題でもある。

今後も、費用対効果を検証しつつ、引き続きフリーペーパーの活用も検討していく。

V 国際交流事業

1 モンゴル国との国際交流

モンゴル国との直接的な交流は現在行っていない。それに代わりモンゴルの文化と日本の文化を対比しながら、五感を使って様々な博物館活動を体験することを目的としたモンパクグローバルクラブの活動を行っており、今年度で4年目を迎える。しかしその活動も、より広い展開につながるものがなかなか見いだせない状況になっていた。このため、この取り組みは今年度をもって終了し、次年度は次の展開を検討する。

● モンパクグローバルクラブ

参加数 4家族 10人 活動回数 5回

①第1回 5月21日(日)「モンゴルってどんな国?」ほか(8人)

②第2回 6月11日(日)「モンゴルの移動式の家“ゲル”を建てよう」ほか(7人)

③第3回 8月19日(土)、20日(日)
「チャイルド アート デイ キャンプ」へ参加(各7人)

⑤第4回 12月23日(土)「馬頭琴ミニライブ」視聴(4人)

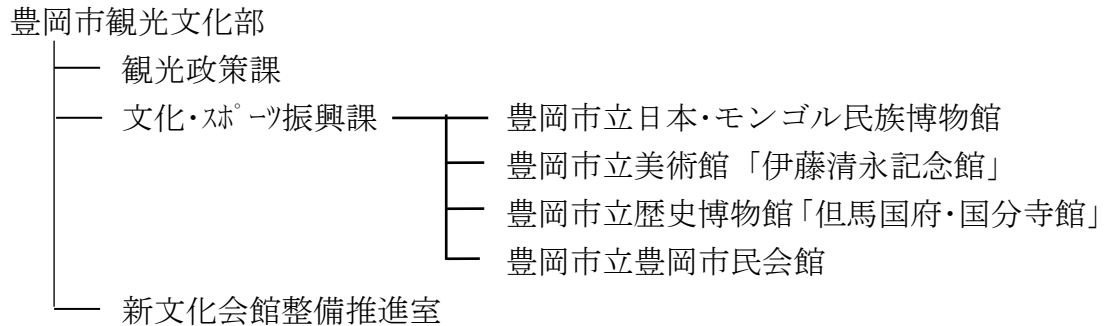
⑥第5回 3月17日(日)
もちつき体験、モンゴルの遊び、1年のふりかえり等(7人)



VI 管理運営

1 組織・職員（2024年3月31日現在）

(1) 組織



(2) 職員

館長(会計年度任用職員)	桑井 弘之 (2023年4月～)
主幹兼係長事務取扱	宮谷 一弘 (2022年4月～2024年3月)
学芸員(会計年度任用職員)	朝倉 由美 (2013年4月～)
学芸員(会計年度任用職員)	伊崎 文彦 (2015年4月～)
管理員(会計年度任用職員)	前裕 里江 (2023年4月～)
事務補助(会計年度任用職員)	渡利 友理 (2022年4月～2023年7月)
事務補助(会計年度任用職員)	安田 善則 (2023年8月～)

2 予算の概要（決算額） 単位：千円

〔人件費〕 21,947

- ① 報酬 9,460
- ② 給与 4,473
- ③ 職員手当等 4,679 (扶養手当 65、通勤手当 1,065、時間外勤務手当 87
期末手当 2,623、勤勉手当 839)
- ④ 共済費等 3,335

〔管理費〕 7,840

- ① 報償費 150 (報償金 150)
- ② 旅費 10 (普通旅費 10)
- ③ 需用費 5,608 (消耗品費 264、燃料費 104、印刷製本費 56、光熱水費 3,385、
修繕料 1,779、飼料費 20)
- ④ 役務費 393 (通信運搬費 280、手数料 41、保険料等 72)
- ⑤ 委託料 1,218 (電気保安点検 219、自動ドア点検 59、消防施設点検 37、
芝生管理 90、清掃管理 295、警備 264、電気使用料監視 56、
資料燻蒸 110、除雪 88)
- ⑥ 使用料 451 (自動車借上料 340、土地借上料 12、機器借上料 29、
用品借上料 57、通行料 11、駐車料 2)

⑦ 負担金 10 (兵庫県博物館協会負担金 10)

[事業費] 3,276

- ① 報償費 1,159 (講師謝礼 1,159)
- ② 旅費 179 (普通旅費 179)
- ③ 需用費 1,195 (消耗品費 948、燃料費 31、食糧費 13、印刷製本費 203)
- ④ 役務費 669 (通信運搬費 189、手数料 453、保険料 27)
- ⑤ 使用料 74 (機器借上料 74)

3 入館者状況

2023年度は、開館日数は306日であり、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、行動制限が解除されたが、入館者数5,675人(前年比33.1%減)と前年を大きく下回った。今後は、より魅力的な企画展の実施や常設展の改善も検討するとともに、企画展に併せてのワークショップの開催や夏休み教室も一層充実させながら、さまざまな手段を用いた情報発信を強化し、集客に努めていく必要がある。

【2020年度(令和2年度)(開館日:270日)】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会	8	6	8	17	7	10	10	12	18	5	3	10	114
一般	11	36	117	190	203	189	161	178	103	46	254	355	1,843
高、大	0	0	0	15	37	3	3	3	3	0	4	16	84
小、中	5	4	14	39	64	22	12	15	6	7	107	146	441
その他	75	47	160	284	188	147	214	142	135	274	482	333	2,481
計	99	93	299	545	499	371	400	350	265	332	850	860	4,963
1日平均	16	7	11	20	18	14	15	13	11	14	35	33	18

【2021年度(令和3年度)(開館日:291日)】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会	5	4	4	8	2	7	6	4	3	1	3	0	47
一般	189	65	73	141	295	104	289	1,077	446	1,439	176	412	4,706
高、大	1	1	2	2	9	3	10	15	15	21	1	7	87
小、中	19	7	9	33	67	9	31	70	15	97	33	167	557
その他	58	21	122	126	145	91	198	363	245	410	94	255	2,128
計	272	98	210	310	518	214	534	1,529	724	1,968	307	841	7,525
1日平均	12	6	8	12	19	9	23	59	32	75	14	33	26

【2022年度（令和4年度）（開館日：302日）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般	318	458	348	550	2,097	164	178	238	111	73	233	421	5,189
高、大	7	5	3	19	69	10	3	3	2	1	4	8	134
小、中	32	41	7	52	154	10	4	0	10	9	35	111	465
その他	209	176	147	168	485	185	222	466	112	66	195	269	2,700
計	566	680	505	789	2,805	369	407	707	235	149	467	809	8,488
1日平均	22	25	20	33	108	14	15	31	10	6	19	31	28

【2023年度（令和5年度）（開館日：306日）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般	363	270	132	202	386	206	224	260	87	124	251	348	2,853
高、大	5	11	0	2	19	6	48	14	0	3	8	14	130
小、中	37	20	7	13	67	13	17	4	3	19	39	68	307
その他	179	106	88	147	205	77	132	701	108	95	266	281	2,385
計	584	407	227	364	677	302	421	979	198	241	564	711	5,675
1日平均	21	16	9	15	27	12	16	39	9	10	23	26	19

2024年3月末延べ入館者数 483,583人

4 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理は、豊岡市シルバー人材センター委託し、年間2回実施した。それとは別に、シルバー人材センターにはボランティア活動として、年1回博物館周辺の除草作業を行っていただいている。

また、委託分のみでは良好な管理が保てないため、当館直営でも随時除草作業を行っている。

(2) 施設修繕等

開館以来27年以上が経過しており、施設の大規模改修や空調の更新など根本的な長寿命化の工事等が望まれるところであるが、今年度については、設備や構築物等の必要最小限の修繕や突発的な空調機器の修繕を実施した。

- ① 伝承文化体験交流館空調修繕 962,060円
- ② 高圧キュービクルボックス修繕 134,200円
- ③ タワーサイン腐食修繕 212,300円
- ④ 駐車場区画線工事 202,400円
- ⑤ 屋外散水栓取替修繕 13,200円
- ⑥ 屋外掲示板塗裝修繕 50,600円

5 博物館協力会

博物館協力会は、当館が位置する旧資母小学校区(5区)住民の呼びかけで、博物館の運営に協力することを目的として平成9年2月10日に発足した。会長は、博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長・役員や各団体の長が理事となっている。加えて、但東地域居住の市議会議員及び協力会元会長が顧問となる役員構成になっている。

しかし、近年は具体的な活動も行っていないのが実態で、その在り方が問われていた。そこで、今年度協力会のあり方検討を行い、「日本・モンゴル民族博物館友の会」という博物館と連携し地域振興を図る住民主体で運営する新たな組織を2024年度に発足させることとなった。なお、組織の構成は当初の5区から資母地区全域に拡大することとなり、博物館協力会は2024年3月31日をもって発展的解散となった。

(1) 役員

会長 今井 栄一

副会長 2名 理事 10名 顧問 4名

任期：2023年4月1日～2024年3月31日

(2) 活動内容

① 役員会の開催

ア 通常役員会 2023年6月12日(月)

博物館の事業報告・事業計画の説明と運営に対しての協力依頼

イ 臨時役員会 2023年12月7日(木)

組織の改編について(新組織概要、会則の報告、協力会の解散)

② 協力会のあり方検討(構成5区区長と館長)

ア 第1回あり方検討会 2023年7月3日(月)

新組織の目的、構成区の範囲、役員構成等について

イ 第2回あり方検討会 2023年7月31日(月)

会則案について

ウ 第3回あり方検討会 2023年9月4日(月)

会則案(確定)について

6 外部役員等就任状況

但馬地域博物館連絡会 監事

7 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

・2023年6月9日(金) 総会(兵庫県立歴史博物館)

- ・2023年6月9日(金)第1回研修会
「ミュージアムサービスに求められるインクルーシブデザインの視点」
- ・2024年2月21日(水)第2回研修会(兵庫県立兵庫津ミュージアム)
事例発表、パネルディスカッション、施設見学
- ・協会が運営するWebサイト「ひょうごミュージアムガイド」で加盟する公立・私立141の博物館・美術館の情報を案内
- ・リーフレット「ひょうごミュージアムガイド」の作成、配布

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が、相互協力して博物館活動の振興を図るため、1997年(平成9年)4月25日に設立され、2024年3月末現在では17館が加盟しており、当館は1997年4月に加盟している。

2023年度及び2024年度は、輪番で監事に就任している。

- ・2023年5月19日(金) 役員会
- ・2023年7月7日(金) 総会
- ・2023年10月27日(金) 研修会

第1部「北前船の歴史的価値」

第2部「日本遺産～北前船寄港地・船主集落:諸寄～」

8 博物館日誌抄

2023年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

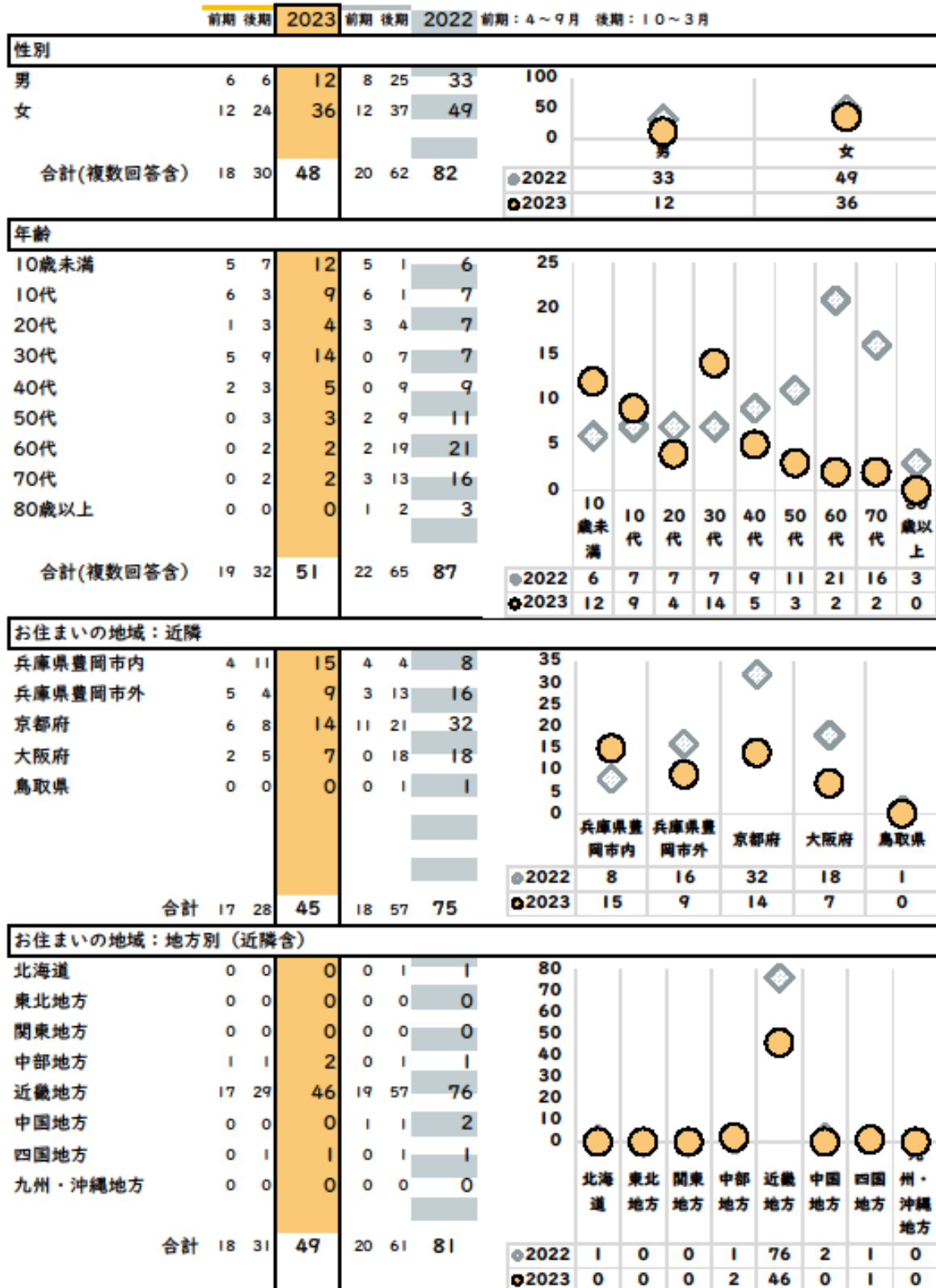
- 4月1日 第88回企画展「古代モンゴル『岩画』1万年の世界～漢字のルーツと原初的美を求めて～」前年度から継続開催(～4/18)
- 4月10日 チューリップまつり開会
- 4月16日 チューリップ会場内で博物館PR実施
- 4月20日 チューリップまつり終了
- 4月24日 館蔵品展「モンゴル民族衣装『デール』と創作衣装」開始
- 5月8日 新型コロナウイルス感染症5類感染症へ移行
- 5月14日 館蔵品展ギャラリートーク(4人)
- 5月15日 図書コーナーレイアウト変更
- 5月17日 駐車場白線工事
- 5月19日 但馬博物館連絡会役員会(香美町)
- 5月21日 第1回モンパクグローバルクラブ(8人)
- 5月27日 サンテレビ取材受け入れ
- 5月29日 トライやるウィーク受入開始(1名)
- 6月2日 トライやるウィーク最終日(大雨警報発表につき中止)
日本海新聞取材受け入れ
- 6月11日 第2回モンパクグローバルクラブ(7人)
- 6月12日 博物館協力会役員会(資母地区コミュニティセンター)
- 6月15日 チューリップまつり実行委員会出席(1名)

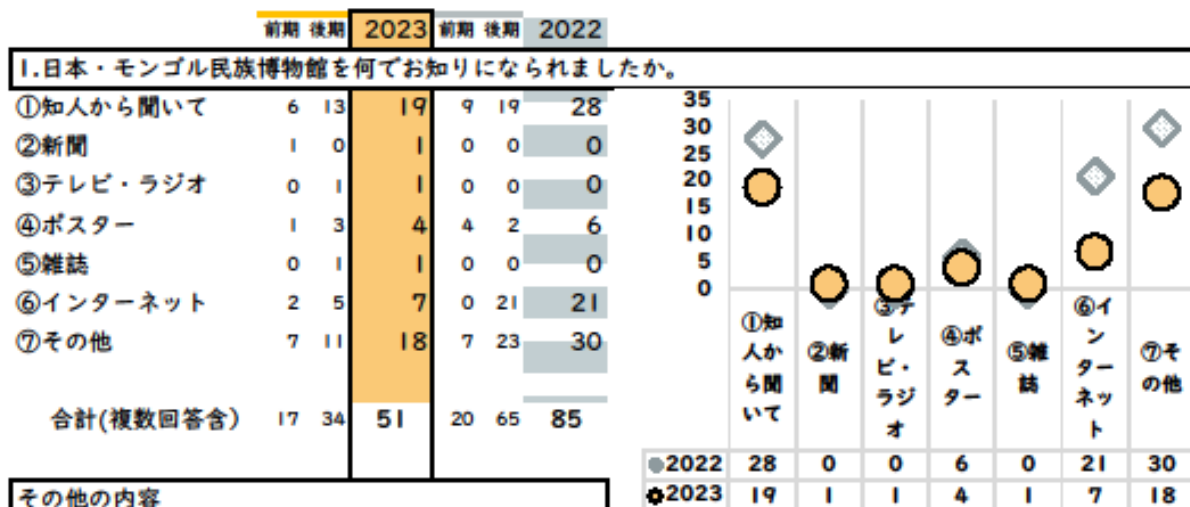
- 7月3日 第1回博物館協力会あり方検討会
- 7月7日 但馬博物館連絡会総会（香美町）
- 7月11日 館蔵品展終了
館内燻蒸実施
- 7月15日 第89回企画展「ピエゾグラフによる赤羽末吉『スーホの白い馬』展」
開始
福井則之氏による馬頭琴演奏会(29人)
- 7月17日 ワークショップ「葉っぱ切り絵をつくろう」(2人)
- 7月22日 アート縁日(市民プラザ:3人従事)
ワークショップ「ハーバリウム教室」(6人)
- 7月23日 サンテレビ取材受け入れ
- 7月29日 ワークショップ「モザイクで絵を描こう」(福住小学P11人)
- 7月30日 ワークショップ「葉っぱ切り絵をつくろう」(2人)
- 7月31日 第2回博物館協力会あり方検討会
- 8月5日 ワークショップ「ハーバリウム教室」(7人)
- 8月11日 ワークショップ「モンゴルの『五家畜』ヤギを描いてみよう」(7人)
- 8月15日 台風7号襲来 臨時休館
- 8月19日 チャイルド・アートデイキャンプ【第3回モンパクグローバルクラブ】1日目(モンゴル博物館:豊岡7人、朝来6人)
- 8月20日 チャイルド・アートデイキャンプ【第3回モンパクグローバルクラブ】2日目(あさご芸術の森美術館:豊岡7人、朝来6人)
- 8月22日 第89回企画展終了
- 8月24日 第90回企画展「～モンゴル人絵本作家による～『モンゴル大草原800年』原画展」開始
- 8月31日 第1回岡市博物館及び美術館運営委員会(モンゴル博物館:15人)
- 9月2日 読売新聞取材受け入れ
- 9月4日 第3回博物館協力会あり方検討会
- 9月7日} 所蔵品調査(チベット・モンゴル仏教やシャーマニズムに関連)
～9日} 国立民族学博物館島村一平教授
- 9月16日 サンテレビ取材受け入れ
- 9月29日 ひょうご演劇祭実行委員会(市役所本庁)
- 10月7日 五感で楽しむ・モンゴルふれあいワークショップ1日目(14人)
ガンバートル、ボロルマー夫妻
日本・モンゴル学生フォーラム【外務省】来館見学(38人)
- 10月8日 五感で楽しむ・モンゴルふれあいワークショップ2日目(3人)
- 10月9日 日本・モンゴル学生フォーラムに際し在大阪モンゴル国総領事来豊
- 10月14日 ワークショップ「ハーバリウム教室」(2人)
- 10月27日 但馬博物館連絡会研修会(香美町・新温泉町:1名参加)
- 10月31日 第90回企画展終了
- 11月5日 しぼ・モンゴル宝まつり(関西文化の日)

- 11月12日 第91回企画展「都市化が進む現代モンゴル～写真家B・インジャー
ンが見た首都ウランバートル社会の断面」開始(2024年4月16日まで)
- 11月21日 館内燻蒸実施
- 11月26日 第91回企画展ギャラリートーク「ヒップホップから見る現代モン
ゴルの社会」国立民族学博物館島村一平教授(24人)
サンテレビ、読売新聞取材受け入れ
- 12月2日 ワークショップ「ハーバリウム教室」(寺町婦人会出張:14人)
- 12月4日 Xmas イベントプレゼント持ち寄り開始
- 12月7日 博物館協力会臨時役員会(資母地区コミュニティセンター)
- 12月13日 国立民族学博物館研究会(学芸員2人発表)
- 12月23日 福井則之氏による Xmas 馬頭琴ミニライブ(10人)
第4回モンパクグローバルクラブ(4人)
Xmas イベントプレゼント持ち寄り終了
- 12月24日 } Xmas イベントプレゼント交換
~26日 }
- 1月31日 FMジャングル出演(博物館の近況、企画展・イベントPR等)
(2/3再放送)
- 2月4日 ひょうご演劇祭「スーホの白い馬」(Aity7F市民プラザ220人来場)
スーテーツァイ(モンゴル茶)試飲、馬頭琴体験の実施
- 2月15日 第1回チューリップまつり実行委員会出席(1名)
- 2月18日 伊根の杜出前講座(京都府伊根町:18人参加)
- 2月20日 三重県桑名市立大山田北小学校 Web 授業(2年生85人)
- 3月2日 まるごとモンゴルひなまつり第1日目(125人来館)
- 3月3日 まるごとモンゴルひなまつり第2日目(211人来館)
- 3月4日 第2回岡市博物館及び美術館運営委員会(伊藤清永記念館にて)
- 3月17日 第5回モンパクグローバルクラブ(7人)
- 3月21日 第2回チューリップまつり実行委員会(欠席)

9 2023 年度来館者アンケート

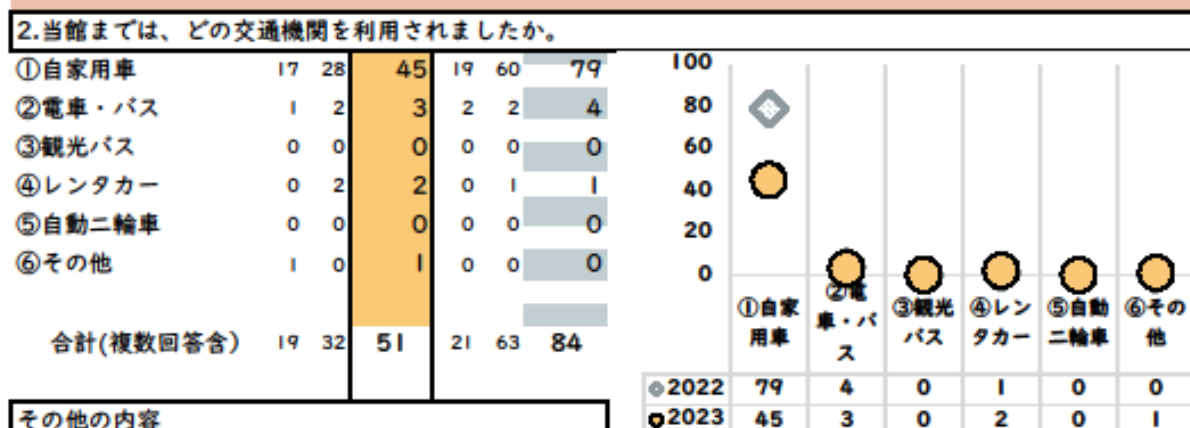
(1) 集計結果





その他の内容

- ひなまつり
- 学校
- 但馬ファンクラブの案内
- 実家の近くだから
- 連れてこられた
- 家族
- 家族
- 以前にも来たことがありました
- オープン当時からよく知っています
- チラシ
- 通りかかって
- お母さん

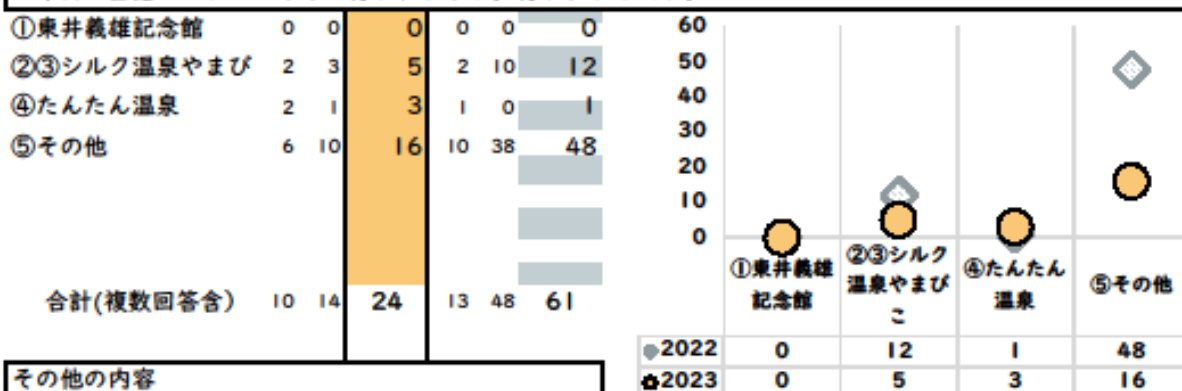


その他の内容

- 記入なし

前期 後期 2023 前期 後期 2022

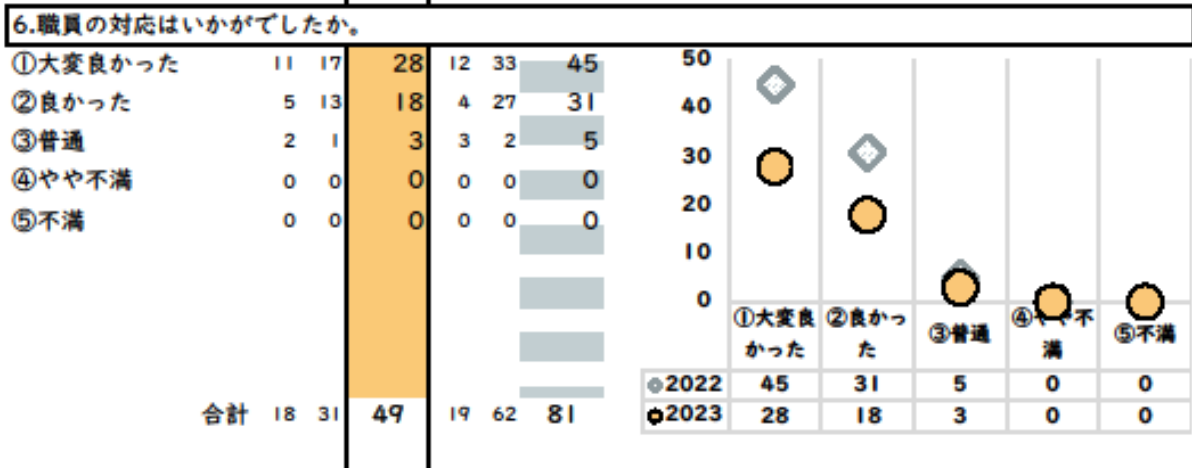
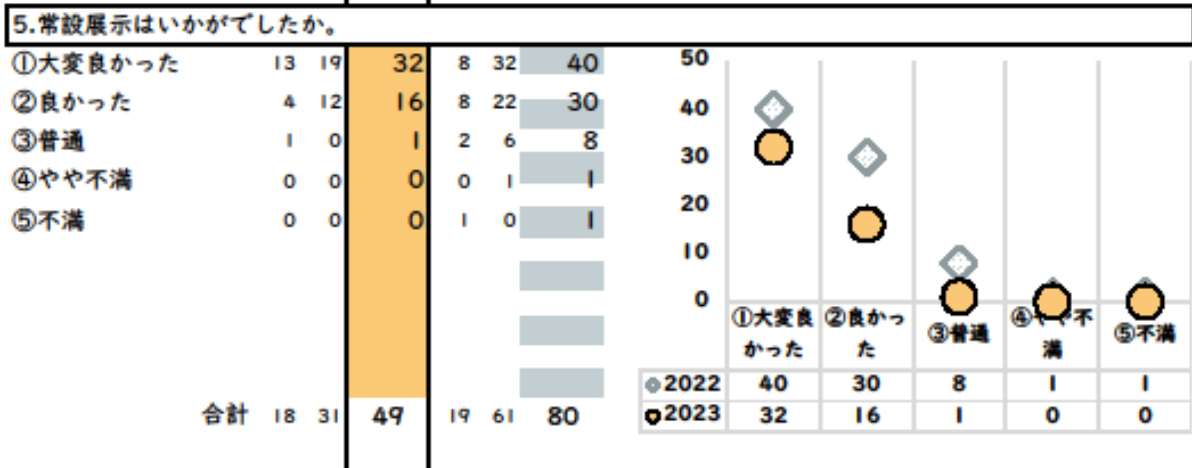
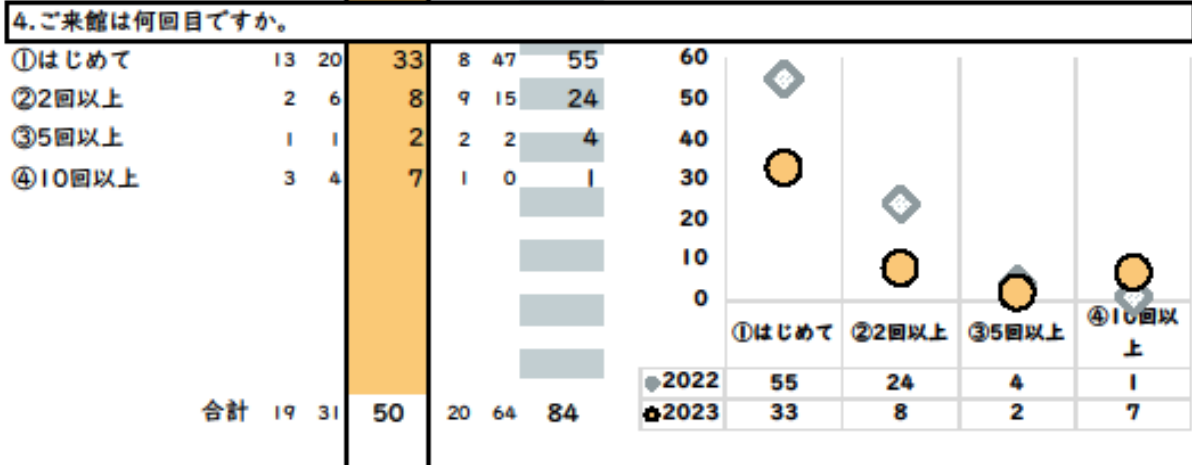
3.今日は当館のほかにどちらへ行かれますか。行かれましたか。



その他の内容

- 当館のみ
- ねぎぼうず文庫
- ひまわり祭り
- 円山川公苑のカヌー体験
- 出石
- 出石
- 但馬楽座
- 但熊
- 当館のみ
- そばー
- 和久傳の森

前期 後期 2023 前期 後期 2022



※案内ご希望に記入していただいた方の数

	前期	後期	2023	前期	後期	2022
合計	6	11	17	4	16	20

アンケート回収枚数（有効記入のあった枚数）

	前期	後期	2023	前期	後期	2022
合計	19	31	50	22	64	86

7.こんな企画展があったらいいと思われる内容をご記入ください。

●モンゴルの楽器・口琴などの特集

○ゲルの中でモンゴルのごはんを食べてみたい

●楽器に触れたりできる企画展

○レゴ

●馬頭琴の実演奏

○エジプトの美術の歴史

●モンゴルのお菓子

○初めて来ましたがとてもよかったです。大好きになりました

●モンゴルの食文化や生活を体験する様なもの

○モンゴル語をしゃべってみる会、モンゴルの牧畜動物に特化した企画

●モンゴルのお茶とかごはんとか味わってみたいです！！あと楽器が弾かれるのを生で聴いてみたいです。

○モンゴルの現代の生活様式の企画展

●モンゴル音楽会&ファッションショー

○モンゴルの他のドキュメンタリー写真家にフォーカスした写真展

●①現代のモンゴル国民の生活様式が体験できるワークショップ

②2023のTV番組「VIVANT」と関連する展覧会

○モンゴルの草原の植物、生態系

●冷戦時代や現代のモンゴルの音楽や文芸について

○クジの商品を販売してほしい

●楽器体験、モンゴル旅行記が見たい

(2) お客様の声

4月6日 兵庫県西宮市 30代 男性

大変すばらしい展示でした。企画展の岩画も実物を見てみたくなりました。

4月9日 兵庫県加東市 年齢不詳 男性

モンゴル国の歴史や文化、但東町の歴史と民族に触れる機会を得られた。特にモンゴルの食器類に興味を湧いた。

今後の展示として、恐竜等の化石に関するものを望む。そのほか、モンゴル相撲についてもっと知りたいと思った。

また、「モンゴル草原のいのり」のコーナーの展示が大変わかりにくいと感じた。内モンゴル自治区、チベットとモンゴル国の関係性の説明が欲しい。

5月20日 兵庫県豊岡市 10歳未満 男児

モンゴルの冬がマイナス40度までさがることにはびっくりしました。ゲールをまたきてみたいです。

7月9日 兵庫県三田市 30代 女性

兵庫県内をドライブした際に目にしていたのですが、今回初めて来ました。色あざやかでとっても魅力的な国なんだなあと感じました。

また、「スーホの白い馬」のところでは、なつかしく思いついつい見入ってしまいました。(小学生時代に教科書で知った。)

ぜひ、知人にも紹介してみようと思います。

- 7月27日 京都府宇治市 30代 女性
スーホの白い馬の展示を目的に来館しましたが、入ってすぐの広場、さつきちゃん、馬頭琴、絵本、おもちゃ、モンゴルの展示、但東の暮らしの展示とどれも魅力的でした。ゆっくりじっくり味わわせていただきました。ありがとうございました。また来たいです。
- 8月20日 兵庫県豊岡市 30代 女性
素敵な歴史にふれて良かったです。
- 9月18日 京都府舞鶴市 10代 女児の保護者
スーホの白い馬を習っていたので、馬頭琴を見ることができ喜んでいました。日本の暮らしの展示もあり、子どもは喜んでいました。
- 9月18日 京都府舞鶴市 10歳未満 女児
はじめてきたけど、きおくにのこりました。
- 9月29日 兵庫県姫路市 40代 男性
歴史が好きなので、モンゴル帝国の戦いの歴史などを見てみたい。
- 10月9日 大阪府羽曳野市 30代 女性
ボロルマー夫妻の絵本が好きで、初めて原画を見て、その緻密さに脱帽でした。こんなに細かい描写ができるんだと驚きで絵に見入って、時間が経つのを忘れるほど・・・細かいだけじゃなく、ボロルマー夫妻の絵と物語は、モンゴルの人々の生活ぶりが温かく楽しく描かれているのも好きだと改めて思いました。昔、「コナンとかいぶつ」の絵本で子供たちと劇をしました(保育所で働いているので)。家族のつながり、マンガスに向かうコナンの勇気・・・物語からたくさんのことを学ぶことができました。ありがとうございました！
- 10月9日 大阪府柏原市 30代 女性
原画展を見に来ました。絵本では感じられなかったその細かさ、繊細さに圧倒されました。今回お会いすることはできませんでしたが、いつか直接お会いすることができたらと思います。モンゴル好きで、2回行ったことがあり、久しぶりにまた行きたくなりました。とても楽しい時間でした。ありがとうございました。
- 10月14日 福井県大飯郡 10歳未満 女児
楽しかった。きてよかった。
- 10月21日 大阪府東大阪市 40代 女性
知っているようで知らない国だったので、とても興味深かった。
- 10月22日 兵庫県西宮市 30代 女性
馬頭琴やシャガイの説明を丁寧にしてくださり、ありがとうございました。子供たちもすごく楽しめました。抽選会も良い物あたって嬉しかったです。
- 10月22日 兵庫県豊岡市 30代 女性
係の方の説明や案内が丁寧で、楽しく過ごすことができました。遊

び方等教えてもらえて、楽しく2時間以上過ごしてしまいました。ありがとうございました。

10月28日 兵庫県豊岡市 20代 女性

300円でこれほどの経験をありがとうございます。とても素敵な空間なので、見て帰るだけではなく、何か留まれる場所が充実しているとさらに最高だと思いました(コーヒー飲みながら本読めるとか)。

ゲル、衣装、五感を刺激される展示ばかりで幸せです。

10月28日 兵庫県豊岡市 20代 女性

とても楽しかったです。充実の展示、施設でもっと多くの人に来てほしいと思いました。グッズ販売もとても魅力的でした。刺繍の体験などできたらうれしいかも・・・

10月31日 香川県坂出市 30代 男性

とても見ごたえがあり、モンゴルの歴史や生活様式を知ることができました。ゲルの再現や、モンゴル料理のサンプルなど、興味深かったです。また、ゲルの中に北朝鮮製のスプーンやフォークがあり、当時のモンゴルは社会主義だったので、そのつながりなのかなという歴史的な側面も見えておもしろく感じました。機会があればまた来たいなと思います。

12月24日 兵庫県豊岡市 50代 女性

孫と初めて来ました。とても楽しめました。数十年前より展示物も増えたようです。また来ます。

1月23日 大阪府箕面市 30代 女性

モンゴルの歴史や生活文化に加えて、現代モンゴル写真家により撮影されたモンゴルの風景を見ることができ、伝統的な遊牧文化と現代的な若者やヒップホップが混在している様子をリアルに知ることができました。図書コーナーが充実していて、ゆっくり過ごすことができ、大変楽しかったです。

1月29日 兵庫県三田市 60代 男性

日本とモンゴル(元の時代)の歴史から始まり、現代のモンゴル国民の生活まで紹介するという、とてもモンゴルへの理解が深まった展示です。とても楽しく良い学びになりました。

また、中近東の歴史にも触れられており、さらにチベット仏教の展示もあってとても素晴らしい施設です。歴史好きにはたまらないアイデア、素敵な催しと思います。各映像も楽しく拝見しました。また来館します。今後の展覧会等の情報をお待ちしています。

2月 滋賀県 30代 女性

木のぬくもりを感じる自然と調和したまた訪れたいと思う博物館であった。

しかし、少し違和感を感じるころがあった。それは、館内ところどころにあった原色の掲示物であった。

3月14日 兵庫県豊岡市 30代 男性

ウランバートルの都市化企画展を見に来ました。ごみが増える風景の写真や、モンゴルのヒップホップに触れることができおもしろかったです。

10. 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び 管理に関する条例

平成17年4月1日
条例第179号

改正 平成19年12月26日条例第66号
平成26年3月28日条例第8号
平成27年3月27日条例第14号
令和元年12月25日条例第26号

(設置)

第1条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山711番地とする。
(事業)

第3条 博物館は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、市長の許可を受け、1点1回につき2,000円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第7条 別表第2に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付

し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用するおそれがあると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長がその使用を不適當であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第1項の許可をしないことができる。
(使用権の譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第8条第1項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第11条 市長は、第7条第1項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第2に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により市長が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認

めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

- 2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

- 3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則 (平成19年12月26日条例第66号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例

の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則 (平成26年3月28日条例第8号) 抄
(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月27日条例第14号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (令和元年12月25日条例第26号)

(施行期日)

- 1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後に許可を受ける使用について適用し、同日前に許可を受けている使用については、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）		備考
	個人	20人以上の団体	
一般	500円	400円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学生	300円	240円	
小学生中学生	250円	200円	

別表第2（第7条、第11条関係）

区分	使用料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企画展示室	1,600円	2,100円	
体験交流室	1,300円	1,700円	1,700円
天幕住居（ゲル）	1基につき5,300円		
備考	冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。		

11. 施設概要

(1) 本館建設概要

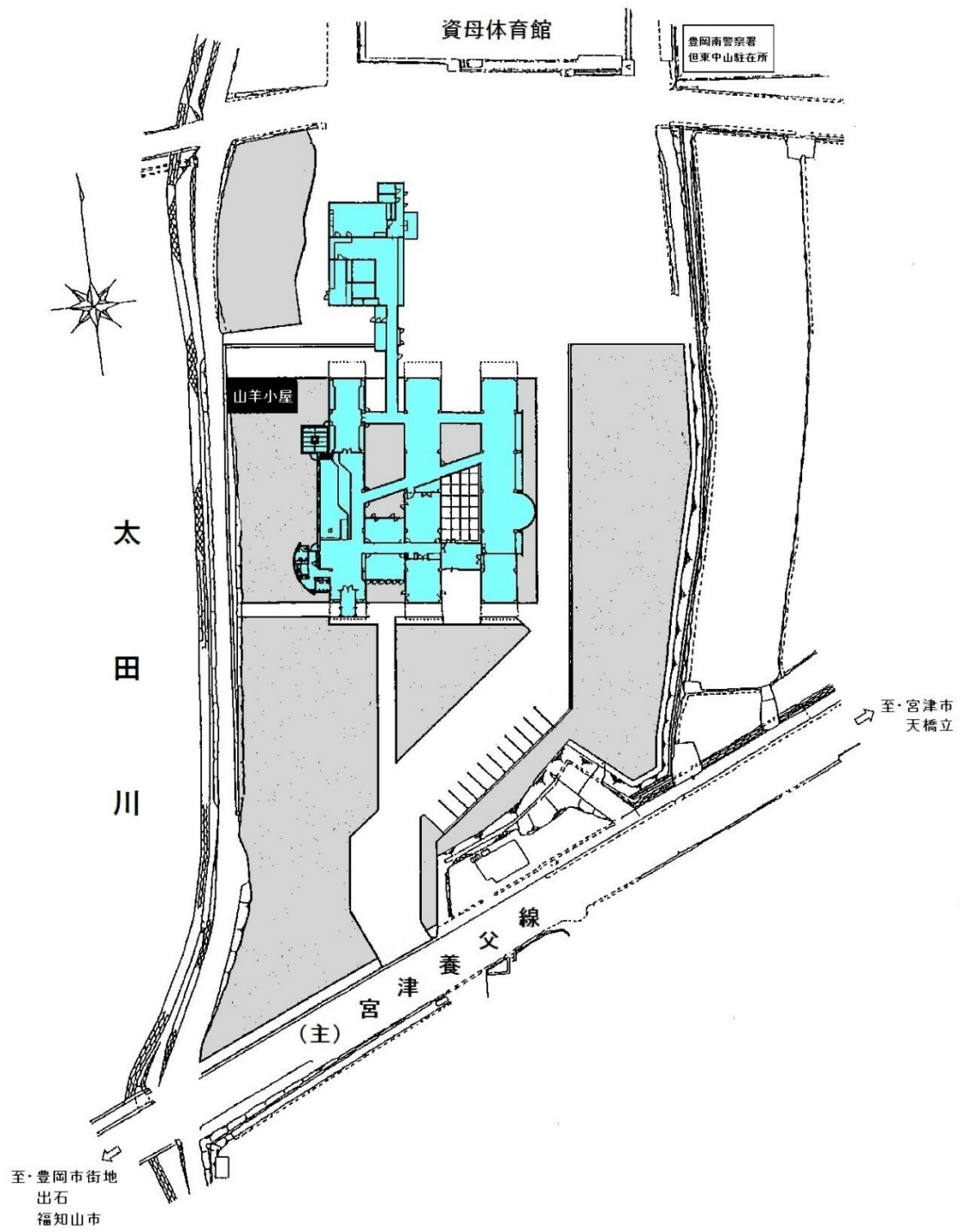
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84㎡
建築面積	999.65㎡
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森/211.6㎡、収蔵庫1/54.6㎡、収蔵庫2/56.5㎡ 荷解室/33.3㎡、応接室/28.0㎡、事務室/33.3㎡、資料整理室/48.2㎡ 展示室「アジアの歴史」/75.7㎡ 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」/206.8㎡ 展示室「チベット仏教」/37.7㎡ 企画展示室/74.4㎡ シルクロード回廊1/13.3㎡、シルクロード回廊2/13.3㎡、シルクロード回廊3/12.6㎡、シルクロード回廊4/12.6㎡

建物規模	平屋建て/東西41.8m、南北42.5m 地上高9.0m <外装>複層吹付
仕 上 げ	<内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板 天井/杉小幅板、岩綿吸音板貼

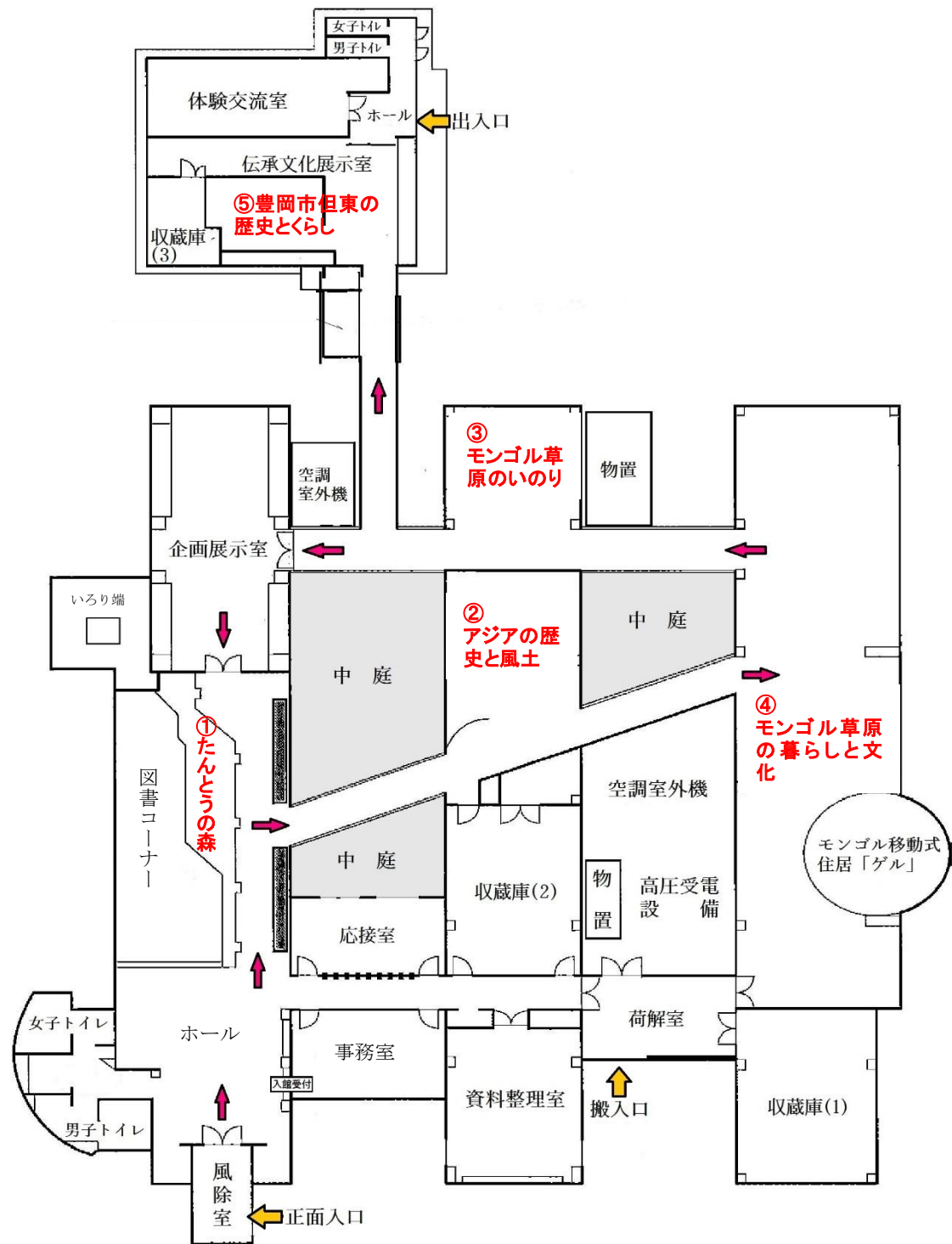
(2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物・展示/井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示/井上良一建築設計事務所
工事施工	建物/株式会社マルテン 展示/株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示/着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
敷地面積	317.57㎡
構造概要	一部鉄筋コンクリート造、木造瓦葺
各室面積	体験交流室/62.6㎡、展示室「豊岡市たんとうの暮らしと文化」/112.5㎡、シルクロード回廊5/36.4㎡、収蔵庫/27.2㎡
建物規模	平屋建て/東西12.8m、南北21.2m 地上高7.1m
仕 上 げ	<外装>押出形成セメント板 <内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/ビニルクロス貼、一部杉板貼 天井/化粧PB貼、一部杉板貼

(3) 配置図



(4) 館内図



12 交通案内



■JR(山陰線)で

豊岡駅からバスで約 60 分 出石で乗り換え(奥藤行き)

モンゴル博物館前下車

■お車で

大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道 福知山 IC から約 55 分

京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路 与謝天橋立 IC から約 25 分

姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道 八鹿氷ノ山 IC から約 45 分

13 利用案内

■開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

■休館日 水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始(12月28日～1月4日)

展示替えのため臨時休館あり

■入館料 一般 500円(400円)

高校・大学生 300円(240円)

小・中学生 250円(200円)

※()内は20名以上の団体の場合

※障がい者手帳をお持ちの方は各料金の半額

※兵庫県内の小・中学生は、ココロンカードの提示により無料

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報第 25 号

Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum
No.25(for the fiscal years of 2023)

2024 年 3 月 31 日発行

編集・発行 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

e-mail monpaku@city.toyooka.lg.jp